

ついでに通信

2017年08月6日号

皆様、こんにちは！一か月ぶりですね。居場所「といろ」木曜日スタッフの川澤岳也です。今回もどうぞよろしくお願いします。居場所便りの作成を引き受け、執筆開始から1年程経過した辺りから正直な話、原稿を書くのがしんどくなるようになってしまいました。以前この場に書いたように、文章作成が得意分野だったという訳ではなくても、それまでに読書経験を重ねていたので、ある程度の質の作文を仕上げることは出来るだろうとの目算はありました。お陰様で通信も好評で有り難く思っていました。それがどうやら次のステーションに入ったようなのです。先月号（7月号・第60号）の作成を以て通信の原稿の分量が一気に増え、目が回ったということもあります。本当に自分にスキルが身についてきたか試される段階に入ったと感じています。私は「ジョジョ」の奇妙な冒

険」という漫画が大好きなのですが、この作品は世間的に『ジョジョ』と言えば第三部」というような認知のされ方をした三部の次の第四部では、作者が内輪ネタを盛り込んで楽しく描くという方針で創作したとの事でした。私も初めて『ジョジョ』の原稿を週刊誌で見たのは第四部の連載中の時でした。しかしコアなファンには受けたが一般人のお客さんが離れてしまったらしいのです。そして第五部は結構作り手の創作上のしんどさが伝わってくるような内容になっていました。でも、男前とか美形キャラが多かったせいか、女性には支持されて、今でもファンが多いエピソードになっているそうです。元々『ジョジョ』の原作者は過去に映画を多数観ていたとのこと。そういうわけで作品作りの最初のうちは教養がたっぷりあってゆとりを持って作れていたのが、アイデアが枯渇していったって、段々作者の内面にあるものを表に出していくというプロセスが要求されるように作り方が変わったのではないのでしょうか？世界的に有名なアニメ映画の某監督も面白い作品がしばらく続いたところで私小説的な物を作りますしね

（豚と飛行機の出てるアニメです。）という通信も原稿を書くのがきつくなってきたということは、今始めた体制で本当に評価されるかどうかの分岐点に来ているということかもしれません。

話は変わりますが、7月末のといろで、もう一人の木曜スタッフの清遠くんとはひきこもりからの回復についてのDVDを観ました。男女一人ずつ当事者の事例が取り上げられていたのですが、その女性の当事者というものが、以前という通信で言及した方でした。去年の米沢での全国大会の2日目にひきこもり大学に登壇された方なのですが、回復に20年の歳月を要したとのこと、そのインタヴューは圧巻でした。当初、母娘関係に踏み込んで手がかりを探っていたのですが、8人目（！）の精神科医から、「回復には『本当の自分』と向き合う必要がある」とのメッセージを告げられ、何度も心のバランスを崩しながら少しずつ前に進んでいったとのことでした。機会があれば多くの人と共有したい内容だと思えました。

いろには来所者が自由に記入・発言して良いノートがあるのですが、そのノートから引用させて頂きます。当事者Y君の意見です。どうぞお読みください。

①2016年9月7日（水）
初めて書かせてもらいます。一です。「言葉」というのは感情をはめ殺しにもするし、形の無いモノを認識できるようにするという結構なやつです。こいつと付き合うには、使う対象に呪いがかからないように使わないとだめですが、もちろん使う本人にも呪いがかかる場合があります。僕はアホなので大分長期にわたりしばられていました。元々右脳優位のボーツとした人でしたので、年だけ重ねて子供っぽさが目立ち、自分も周りも違和感を感じていたと思います。それがコンプレックスである場面ではかたくなに話さず、人の話をニヤニヤ聞いているだけの痛い子でした（主に中学後期から）。

「頭がいいとは何だ？」そんな抽象的な問題にぶつかりました。今こそ脳科学で解りやすくなりましたが、当時はどこにつなげれば自分の

（B面に続く）

(という通信B面)

知りたいことが知れるのかもわからない、貧弱な人間でした。本をほとんど読まないし、別のことに興味があつたので、おそろかにもなりやすかったと思います。最近またそんな感じになってきているというか、年々社会に出る気力が無くなってきています。人間関係でつまづきつまづき・・・。「歩く災厄」だと思つ時期もありました。大げさですが、そんな風に思わないと納得できない程、人に嫌われたりとか・・・。言葉は大事ですが、自分の「核」みたいなものから話されやすいものだと思つています。あくまで自分の感覚ですが・・・。 I・Y

②2017年2月1日(水)

I・Y

最近気付いたことで、僕は小さなアイデンティティクライシスの無限ループを繰り返していたんではないかということがあります。自我構築の苦手な性格の上、いい子であろうとした過去がそれを大きくさせてハリボテのような自我になっていきました。またそれに加えて影響を受けやすかったり、他人のものさしを借りていたので、「本当に自分がどう思

うか」ということが置き去りにされていたように思います。ほんとうにモザイクの様なツギハギのハリボテという不明瞭でもろい自我です。そこに強い非難が入ったり失敗があると、一気に真っ黒な心が出現するように落ち込んだりしていました。今思えばそれが「プチアイデンティティクライシス」なんじゃないかと思えます。「プチ」と言えども何回もくらくと死にたくなりますし、その中でも大小ありますので、たまったものではないで「こんなに自分は頑張つて我慢しているのに」という変なプライドが出てきますが、その内容は空っぽでほこれるようなものではないからなおさらむなしなのです。

「空っぽの真面目さ」

「空っぽのプライド」

③2017年2月22日(水)

二週間ぶりに書かせてもらいます。自分の人生ですが、大分不細工なものでしたし、それを巻き返そうとか思つ時期もありました。でもそういうのは本当はしんどいだけで却って自分を追い詰めるだけだというのも解ってきました。そう思う中で自分に頑張つて形にしていけばいいし、どんな形かというのにこだわら

ずに、周りの状況や自分の状況を見詰めつつ、その中で自分の想いを選択できたらいいかと思つています。その結果であれば形はどうであれ、ある程度は納得できるのではないかと思います。そこに自分に対しても周りの人に対しても誠実さがあれば、今思っている以上にいい人生になるのではないか、と思つています。

(一部の明らかな誤字・脱字を当方で修正した以外は原文のままです)

ーくんどうもありがとうございます。今月もという通信をお読み下さった方々に感謝します。では！

《今月の一枚》

K君の写真「想い」



居場所「という」の所在地は
〒781・5102

高知市大津甲969-3です。

というの目印は**白い鉄の門扉**です。というの前の道路を挟んで**小さな畑**があります。

TEL・FAXは

088-821-6519

メールアドレス

qavv3dr9k@globe.ocn.ne.jp

または

skatoiro1016@gmail.com

お便り、お待ちしております。

相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。

《というスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください》

というは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただけると助かります。というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでくれたらと思います。お菓子と飲み物(麦茶・ジュース)、この時期にはかき氷などがあります。